

第8回

包装材料セミナー

—サステナブルな包装材料—

日時：平成25年1月25日(金)

会場：KFC Room101~103

主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の
お勧め
：

近年包装材料には、多様化する消費者ニーズから、高機能化・高付加価値化・コスト競争力が求められ、単に内容物の保護だけでなく、加工性から使い勝手、廃棄性等総合的な性能が必要とされています。こうした状況に対応すべく、当会では、日々進化する包装材料の最新動向と今後の展開、業界情報等をご紹介します「包装材料セミナー」を開催しております。第8回目の今回は、世界から日本を考え、日本から世界を考え、グローバルビジネスの大きな潮流にもなりつつあるサステナビリティの切り口で包装材料を考えます。どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

プログラム

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:10	<p>◆『ダウのグローバル戦略とサステナブルパッケージの取り組み』</p> <p>ダウは米国ミシガン州ミッドランドに本社を置く世界最大級の総合化学品メーカーです。弊社の全体的なご紹介とプラスチック事業部のご紹介を、米国シェールガス・サウジアラビア・タイの投資案件に焦点をおきながらお話しします。</p> <p>また、事業拡大の追求だけでなく、いかに社会の持続可能性、サステナブルな発展を可能に出来るかなど、環境対策の取り組みにも触れる予定です。ダウ全体で掲げる「ダウ2015年持続可能性目標」のご紹介に加え、プラスチック事業部が近年積極的に取り組んでいるサステナブルパッケージの実例をご紹介します。</p> <p>私共の樹脂を使用したパッケージがいかにreduce、recycleに貢献できるか、バイオ原料への投資、パッケージの性能を高めることによる無駄・廃棄の防止についてお話しします。</p> <p>また、グローバル戦略にならない、日本・アジアでの成長戦略についてもお話しする予定です。</p>	<p>ダウケミカル パシフィック リミテッド アジア太平洋地区ポリエチレン事業部 バリューチェーン・新規事業開発・サステナビリティ マーケティングディレクター 小川 勝弘 氏 コーディネーター 凸版印刷(株) 開発販促本部 商品開発部1部 課長 宋 賢治 氏 (株)J-オイルミルズ 資材部 次長 日高 和弘 氏</p>
11:20 ▼ 12:30	<p>◆『TULC技術の変遷とグローバルパッケージング戦略』</p> <p>TULCは、材料や生産プロセスを根本から見直した環境配慮型の全く新しい2ピース缶として1992年に登場した。TULC技術は、加工時にクーラント(潤滑剤入り冷却水)を使用せず洗浄工程も不要で、水を一切使わず生産工程での固形廃棄物の大幅な削減を可能にした。この技術が世に出てから20年が経過した。</p> <p>この間、TULC技術は大きく進化してきた。今回はその変遷とそのグローバルパッケージング戦略について報告する。</p>	<p>東洋製罐株式会社 テクニカル本部 基盤技術部 部長 神崎 敬三 氏 コーディネーター (株)クラレ エイバル事業部 グローバルマーケティンググループ 主管 村田 知規 氏 アサヒ飲料(株) 購買部長 守谷 弘幸 氏</p>
13:30 ▼ 14:40	<p>◆『食品用器具・容器包装の規制と最近の動向について』</p> <p>食品用の器具・容器包装の規制及び最近の動向について解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品衛生法における規制の概要 ○規制の国際整合化に向けた取り組み ○食品用器具容器包装における再生材料の使用について ○再生プラスチック指針 	<p>厚生労働省 医薬食品局 食品安全部 基準審査課 佐藤 輝雄 氏 コーディネーター 東洋製罐(株) テクニカル本部 プラスチック技術部 製品技術グループ 山口 裕司 氏 (株)ロッテ 中央研究所 包装研究室 主管 小垣美津子 氏</p>
14:50 ▼ 16:00	<p>◆『新たな店頭回収・リサイクルシステムの導入による“ペットボトルtoペットボトルリサイクル”』</p> <p>①「スーパーマーケットにおける効率的なペットボトルの店頭回収」 スーパーマーケットが資源物の店頭回収を実施する意義 容器包装リサイクルにおける小売業の役割 今までのペットボトルの店頭回収・リサイクルでの課題 自動回収機を利用した新しいペットボトルの店頭回収システムの概要 資源物の回収・リサイクルを推進する上での課題</p> <p>②「回収されたペットボトルを有効活用する技術～都市油田の高度利用を目指して～」 中東諸国のような天然油田を持たない資源小国日本にとって、市民から回収されるペットボトルは「単一素材の物が単品回収できる、貴重な都市油田」です。回収されるペットボトルがきれいであればあるほど使用用途も広がり高度化利用も可能になる為、セブン&アイ HLDGS.を始めとする量販店は自動回収機を利用して消費者の分別意識を高めるなどで回収ペットボトルの状態改善にも近年力を入れて取り組んでおられます。</p> <p>私どもリサイクルメーカーは、そうした取組みによってきれいに回収されたペットボトルを最大限に有効活用し、CO₂排出量の削減や脱石油社会の実現に繋がる持続的なシステムを構築していく責任があります。本講演では、回収されたペットボトルを最大限に有効活用する意義と有効活用例の代表とも言えるボトルto ボトル実現の土台となる考え方や技術についてお話しします。</p>	<p>①株式会社セブン&アイ HLDGS. 総務部 環境 永井 達郎 氏 ②協栄産業株式会社 常務取締役 営業本部長 金丸 敦 氏 コーディネーター ユニチカ(株) フィルムカスタマー・ソリューション部 技術サービスグループグループ長 鶴崎 義之 氏 雪印メグミルク(株) 研究開発部 研究開発グループ課長 松野 一郎 氏</p>

講師のご紹介

小川 勝弘氏

ダウ・ケミカル パシフィック リミテッド(Dow Chemical Pacific Limited)
アジア太平洋地区ポリエチレン事業部 パリビューチェーン・新規事業開発・サステナビリティ マーケティングディレクター

【ご略歴】
1983～1987 日本化薬㈱
2000 Dow Chemical Singapore Limited アジア太平洋地区ポリエチレン樹脂プロダクトマーケティングマネージャー
2004 Dow Europe GmbH 全ヨーロッパ・中近東・アフリカ地区ポリエチレン樹脂プロダクト・ディレクター
2007 Dow Chemical Pacific Limited
2011 同社 アジア太平洋地区パフォーマンス・パッケージング部 マーケティング本部 本部長
2012 同社 アジア太平洋地区ポリエチレン事業部 パリビューチェーン・新規事業開発・サステナビリティ マーケティング・ディレクター

神崎 敬三氏

東洋製罐(株) テクニカル本部
基盤技術部 部長

【ご略歴】
1986 広島大学大学院 理学研究科 化学専攻 修士課程修了
東洋製罐㈱入社 技術本部に配属される約10年間、缶用ルブリカント、水性塗料及びTULC技術開発に従事
2010～2012 開発本部 メタル容器開発部にて缶用材料の開発に従事
2012.7 テクニカル本部 基盤技術部 部長
東洋製罐が扱う容器全ての材料、衛生性関連、評価、充填殺菌システム等を担当。

佐藤 輝雄氏

厚生労働省 医薬食品局
食品安全部 基準審査課

【ご略歴】
監視指導課、審査管理課、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、環境省等を経て2012年4月から食品 安全部 基準審査課 容器包装基準係

永井 達郎氏

株式会社セブン&アイ HLDGS.
総務部 環境

【事業説明】
セブン&アイグループのイトーヨーカドー、ヨークマートに設置した店頭時自動回収機を導入した新しいペットボトルの店頭回収・リサイクルシステムを導入した。資源のリサイクルは協栄産業㈱が担当し、メカニカルリサイクルの手法等でペットボトルの高度利用を行っている

金丸 敦氏

協栄産業株式会社
常務取締役
営業本部長

開催要領

日時：平成25年1月25日(金)

会場：KFC Room101～103

東京都墨田区横綱1-6-1 TEL. 03-5610-5801

参加費：会員 22,050円(消費税・テキスト代含む)

一般 32,550円(消費税・テキスト代含む)

定員：100名

お申込み方法

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

協会HPからのお申込みも出来ます。

協会HP:<http://www.jpji.or.jp>

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方が

ご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(当日、名刺をご提出いただきます。)

お問い合わせ並びにお申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係

担当：竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL. 03(3543)1189 FAX. 03(3543)8970

e-mail: takeuchi@jpji.or.jp

会場案内図

地下鉄

●都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結

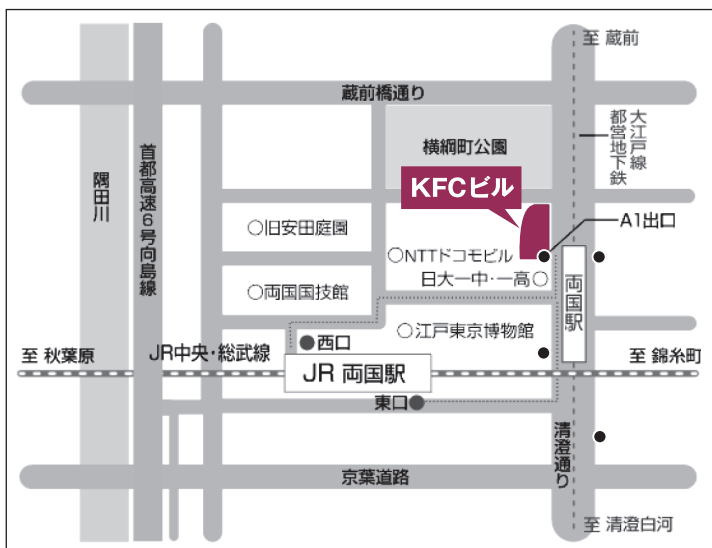
JR

●JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分

東口改札より線路沿いを千葉方面へ向かい、突き当たり大通りを左折しガードをくぐり、約200m先左手25階建てビル

●JR中央・総武線「両国駅」西口より徒歩約7分

西口改札より両国国技館と江戸東京博物館の間の歩行者用通路に沿って、車止めのある十字路を右折
両国中学校と江戸東京博物館の間のレンガ道を進み大通りを左折し、約50m先左手25階建てビル



【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第8回包装材料セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

第8回包装材料セミナー(1月25日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名					
所在地	(〒)				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	